

政府の屈服あり、我々農協運動の勝利である。(中略)

我々は従来の特権から、又地主の専横から観て、この陳述の  
演説は我々農協階級に何卒の福音と見らるべきであらう。我々  
事を知つてゐる。然し、之は利用して、この陳述に我々政府の  
劣勢政策を ~~暴露~~ 攻撃せんとするところがある……  
と、いふ如き、意味を以て、会長鈴木氏の代表就任を祝  
福した。

陳述会委員之各時折陳述を試せられたが、西尾未元氏の  
演説中、特には「この陳述は、早く地方混乱  
し、遂に和議を望むべきである」と命ぜられた  
次に一二の演説を摘記し置く。

日本農民組合

平野力之丞

此種の劣勢代表並に出陣して、政府が農民組合を除外した  
事をもっとも不吉と認むるべきであり、政府は現在日本

にあり小作人二十五万人を劣勢者と認めない——主権は劣勢  
組合に於ては認められておらず、拘束——とか、或は今年や議  
事は農民組合への関係ないからと、遂に差出権四十三  
両と、いふことを陳述したるのありあり。

我々も、同じく代表並に出陣して、この陳述を劣勢組合に於ては、  
虚言と見做して、政府の欺しむべきでない。

代表 鈴木文治君

此種不吉陳述が、この劣勢代表として各組合より送られたら、不  
出張するといふ事は、實に私の友とわたくしと、いふべきであらう。  
先程から、同志諸君から、と異心窺はれぬ努力のあり、言ひあ

前書